

(10) いきいきちばっ子推進プロジェクトの概要

① いきいきちばっ子学習ノートを活用した食育推進事業

食に関する学習ノート「いきいきちばっ子」を県内の小学校1, 3, 5年生に配布し、授業等での活用を図ることにより、食に関する指導を充実します。



わくわくきゅうしょくのうた

- ★ しょくじのやくそく できたかな
 - ☆ さあ きゅうしょくがはじまるよ!
 - ★ ちょうりいんさんのいちにち
 - ☆ ばいきんまおうのぼうけん
 - ★ 朝ごはんでパワーアップ
 - ☆ モー子ちゃんのねがい
 - ★ げんきれっしやをはしらせよう!
 - ☆ きゅうしょく ぜんぶたべられたかな?
 - ★ じょうぶなはでよくかんでたべましょう
 - ☆ やさいだいすき みんなでそだてたものを たべてみよう
 - ★ たのしいな きせつのおりょうり
 - ☆ さくらもち お手がみをかこう
- おくづけ たべものシール(1) やさいシール(2)



- 1 海の幸・山の幸
 - 2 1日のスタートは朝ごはんから
わが家のおすすめ朝ごはんを作ろう!
 - 3 夏を元気にすこす食事
夏のおやつ 夏休み中の食生活調べ
 - 4 ぼうさいとひじょう食
 - 5 特色ある千葉県産物
 - (1) 「いも」のうわさ 作ってみよう さつまいもの料理!
 - (2) 種るいのほうふな魚貝るい
知ってるかい? 青み魚のすごいパワー
じょうずに食べよう! おいしいお魚
 - (3) 日本の「らく農」の発祥地
 - 6 よくかんで、ゆっくり食べよう
 - 7 冬の食事とかぜのよぼう
- ☆ 3つの食品群



- 1 ここからスタート 食生活診断
 - 2 今朝の食欲はどう? さて朝食に何をつくらうかな
 - 3 楽しく、おいしく、バランスよく食べよう
栄養バランスを考えて
 - 4 かしこく食べよう 楽しいおやつ
 - 5 よくかんで パワーアップ!!
だ液について考える しっかりかむことは...
 - 6 「食」を極めよう! (食の自由研究)
 - 7 食べものの「旬」って何だろう?
 - 8 オリジナル弁当をつくらう お弁当を作ってみよう
こんなお弁当はどうか 感謝の気持ちを伝えよう
 - 9 感謝の気持ちを伝えよう(会食の計画) 太巻き寿司
太巻き寿司をデザインしてみよう
- ☆ 食生活ロングラン記録表

「心と体の健康づくりは正しい食習慣から」～きちんと3食（色）いきいきちばっ子～

近年、食べることを通しての教育、食を通しての人間形成という視点からの「食育」の重要性が高まっています。千葉県教育委員会では、子どもたちが自らお弁当を作成することにより、食への関心を高め、食べることを見つめ直す手だてにつながることから、県内の小学5,6年生を対象に、オリジナル弁当の献立を募集しました。

コンクールには、113点の応募があり、書類により厳正に審査し、優秀作品4点、入選作品6点を選びました。優秀作品については、平成18年4月配布の5・6年生用「いきいきちばっ子」ノートに掲載されました。また、入賞作品は、学校安全保健課ホームページ上に配信予定です。

オリジナル弁当コンクール優秀作品

★お父さん今日もがんばって弁当★

市川市立青野小学校
酒井 悠美さん



いつも仕事で大変だから、がんばってという気持ちで付けました。

料理ごとにカップや仕切りを上手に使って、きれいに盛り付けてありますね。ご飯に肉そぼろをサンドしたボリューム満点のお弁当です。ハードなお仕事もがんばれそう。なにより、家族の愛情がお父さんにとって、一番の栄養になりそうですね。

千葉っ子弁当

旭市立中央小学校
林 千賀子さん
片山 ゆきのさん
鎌形 直起さん
高橋 大輝さん



千葉の栄養いっぱいのおいしい野菜を使って、いろいろ豊かなお弁当にしました。

みんなの力を合わせたお弁当です。ほうれん草を入れた卵焼きが、とてもきれいにできました。アスパラガスをベーコンで巻いたり、ポテトサラダにツナを入れたり、野菜をおいしくする工夫がいっぱいです。

ノンオイルちばもり弁当

柏市立中原小学校
落合 瑛里香さん



千葉県の特産品をたくさん使いました。

千葉県の特産物のほうれん草とピーナツのあえ物、さつま芋とりんごのサラダ、かぶときゅうりの柚子香漬け、焼きトマト、鮭としらす干しと梅干入りのり巻きおにぎり、全部で23品目の食品を料理の中に上手に盛り込みました。栄養のバランスも、味の組み合わせも、とてもよく考えられていますね。

スポーツ弁当

佐倉市立住倉東小学校
佐藤 里奈さん



千葉県産のピーナツをクッキーに入れたり、子どもの食欲がわくような楽しいお弁当にしました。

スポーツにかかせないエネルギー源の炭水化物が、しっかりとれます。ボール型のポテトサラダに、にんじんがかくれているのもおもしろいです。果物をそえるときらによいですね。



食に関する指導事例集について

健康でいきいきとした生涯を送るためには、子どもの頃から「バランスのよい食事」、「十分な休養・睡眠」、「適切な運動」という健康三原則を踏まえて調和のとれた生活を実践し、習慣化を図ることが大切です。

千葉県教育委員会では、学校における食に関する指導を充実させるため、「食に関する指導事例集」を作成しました。

この事例集は、食に関する学習ノート「いきいきちばっ子」の活用例と、指導に役立つ資料集とで構成してあります。どうぞ、ご活用下さい。

食に関する指導事例集 表紙 まえがき・目次

1・2年生用指導事例

1. 生活科 みんなでそだてたものをたべてみよう
2. 生活科 さあ、がっこうたんけんだ
3. 学級活動 朝ごはんでパワーアップ…一部修正しました 平成18年9月
4. 学級活動 さあ、きゅうしょくがはじまるよ！

3・4年生用指導事例

1. 体育科(保健) 生活のリズムを考えよう…一部修正しました 平成18年9月
2. 学級活動 よくかんで食べよう
3. 学級活動 冬の食事とかぜのよぼう…一部修正しました 平成18年9月
4. 学級活動 かしく飲んで元気な夏に

5・6年生用指導事例

1. 家庭科 バランスのよい食事をしよう
2. 家庭科 楽しい食事をしよう～朝食を作ってみよう～
3. 体育科(保健) 病気の予防
4. 学級活動 こい味よりもうすい味に慣れよう

資料集(中表紙)

1. いきいきちばっ子推進プロジェクト(県教育庁教育振興部学校保健課)
2. 栄養教諭と学校栄養職員の職務内容について(県教育振興部学校保健課)
3. 食育基本法の概要ほか(食育基本法パンフレット:内閣府)
4. 正しい食生活は子育ての基本です(リーフレット:千葉県教育委員会)その1 その2
5. 食習慣チェック虎の巻(千葉県教育委員会)その1 その2
6. 「早寝・早起き・朝ごはん」国民運動(リーフレット:文部科学省)その1 その2
7. 睡眠はたいせつです(家庭教育手帳:文部科学省)
8. 一日のスタートは朝食から(家庭教育手帳:文部科学省)
9. 早寝早起き朝ごはん及び資料(家庭教育手帳:文部科学省)
10. よく食べ、よく動き、よく眠ろう！(元気アップハンドブック:文部科学省)
11. 食に関する指導 年間指導計画作成例・表紙(県教育振興部学校保健課)その1 目次
 - * 食に関する指導 年間指導計画作成例の利用について(県教育振興部学校保健課)
 - * 食に関する指導 年間指導計画作成例・小学校(県教育振興部学校保健課) その1 その2
 - * 食に関する指導 年間指導計画作成例・中学校(県教育振興部学校保健課)その1 その2 その3 その4
 - * 朝食、きちんと食べてますか(参考資料)
12. 博物館での食に関する展示の紹介(県教育振興部文化財課)
13. 食に関する指導 全体計画(銚子市立本城小学校)
14. 食に関する指導の各教科領域との関連(銚子市立本城小学校) その1 その2
15. 奥付 裏表紙

問い合わせ先 千葉県教育庁教育振興部学校安全保健課 電話 043-223-4095

② いきいきちばっ子健康・体力づくりモデルプラン

しっかり回そう! 健康の歯車



私たちは、いつも元気なちばっ子を育てます

運動や睡眠時間の不足、食生活の乱れ等により、子どもたちの健康や体力に関わる問題が深刻化し、健全な心身の発達や学力にも影響を与えています。子どもたちが望ましい生活習慣を身につけ、生活リズムの向上を図るよう早急な取り組みが必要です。

千葉県教育委員会では、この課題解決のため、子どもたちや県民の皆様からの意見をもとにして、この「いきいきちばっ子健康・体力づくりモデルプラン」を策定しました。

このプランによって、子どもたちが自らの課題をつかみ、豊かな人間性やたくましい体を育みながら生涯にわたって主体的に望ましい生活習慣を実践する力をつけることができるよう、家庭・地域・学校の協働で取り組みましょう。

健康なちばっ子の一日の歯車



よりよい生活習慣は健康の歯車を元気に回します

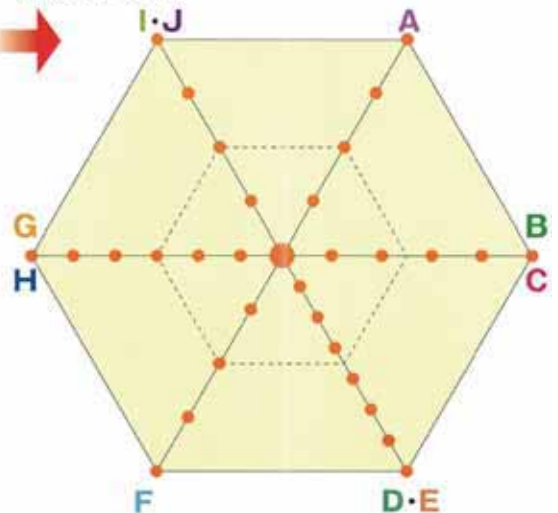
健康・体力づくりの具体的な進め方～モデルプランを例に～

手順① 「いきいきちばっ子生活習慣チェック表」を使い、自分の生活習慣の課題を見つける。

番号	内 容	○印	グ-プ	項目
★1	1日の睡眠時間は7時間～9時間である。(小学校中学年までは8～10時間)		A	睡眠
2	午後10時にはいつも眠るようにしている			
3	授業中眠くなることはない。			
4	眠る時間や起きる時間は毎日決まっている。			
5	好き嫌いなく何でも食べる。		B	食事
★6	一日三食きちんととっている。			
7	朝は食欲がある。			
8	テレビゲームはあまりしない。		C	テレビ
★9	一日のテレビを見る時間は決まっている。			
10	夕食は眠る時間の2時間前にはとり終わっている。		D	食事
★11	栄養バランスのよい食事に心がけている。			
12	お菓子やスナック菓子は食べすぎている。			
13	夜食はとらないようにしている。			
14	休み時間はいつも外で遊ぶ。		E	運動
★15	毎日息が弾むくらいの運動を30分以上している。			
★16	1週間に3回以上スポーツをしている。			
★17	誰かに起こしてもらわなくてもひとりで起きられる。		F	起床の仕方
18	朝気持ちよく起きられる。			
19	毎朝必ずうんちがでる。			
20	学校へは歩いて登校している。			
★21	食事は必ず家族でそろって楽しい雰囲気できている。		G	食事
22	食事の準備や片付けをよく手伝っている。			
23	部活動や学校外のスポーツクラブなどに参加している。		H	運動
★24	休日は家族や友だちとよく運動(体を動かす遊び)をする。			
25	家で毎日体を動かしたお手伝いをしている。			
26	家に帰ってから、お買い物や散歩など、歩いたり自転車に乗って出かけることが多い。			
27	運動することは楽しい。		I	運動
28	運動をして(体を動かして)気持ちが良いと思うことがよくある。			
29	歯磨きは1日3回欠かさずに行っている。		J	歯口
★30	よく噛んで食べている。			
○の合計の数				こ

※番号に★の印がついているものは、重点項目です。必ずクリアするように努力させましょう。
★の印以外の内容で状況と合わないものについては、クラスで話し合うなどして変更してください。

手順②
チェック結果をグラフに表す。
(A～Jのグループごとに)



手順④
わたしの健康・体力づくり作戦を立てる。
(自分の健康・体力づくりに近かった作戦例を参考にする。)

わたしの健康・体力づくり作戦

手順③ 自分にあった作戦を考える。(グラフで低かったグループの作戦例を参考に考える)

いきいきちばっ子健康・体力づくり作戦例

—A・B・Cグループ— ライフスタイル向上プラン

- ★作戦例A 10時に睡眠、貴っ暗大作戦
- ★作戦例B 何でももりもり、好き嫌いこさよなら大作戦
- ★作戦例C 週に1回、ノーテレビ・ノーゲームデイ大作戦

—D・Eグループ— パワーアッププラン

- ★作戦例D 規則正しい食事、めざそうベストスタイル大作戦
- ★作戦例E 運動の習慣化をめざそう！体力アップ大作戦

—Fグループ— モーニングいきいきスタートプラン

- ★作戦例F 朝から生き生き！目覚まし活動大作戦

—G・Hグループ— ファミリーコミュニケーションプラン

- ★作戦例G 家族そろっていただきます大作戦
- ★作戦例H みんなで運動・手伝い、なかよし大作戦

—I・Jグループ— スマイルいきいきプラン

- ★作戦例I 体感しよう！運動のすばらしさ大作戦
- ★作戦例J カミカミ・シュッシュュ、輝く歯！いつも笑顔で大作戦



手順⑤ 自己評価により、作戦の実行・見直しを行う。
朝自習の時間等を活用し、子どもたちが自己評価をする。



いきいきちばっ子カレンダー

1週間たったら ○・●は2点 △・▲は1点 □は0点 として
※「1週間の評価」の欄のA・B・Cに、次の観点を参考に○で囲みましょう。
A・・・1週間の合計が12点以上 B・・・1週間の合計が6点～11点 C・・・1週間の合計が5点以下

児童・生徒の実態に合わせたいろいろなパターンのカレンダーを
ホームページに掲載予定ですので御活用ください。

【記入例】

	日	月	火	水	木	金	土	合計	1週間の評価
評価 得点	1○▲ 3	2△ 1	3▲● 3	4○ 2	5△ 1	6▲▲ 2	7□▲ 1	13	(A) B C
評価 得点	8▲● 3	9▲▲ 2	10○ 2	11□ 0	12○ 2	13○ 2	14□ 0	11	A (B) C
評価 得点	15	16	17	18	19	20	21		A B C
評価 得点	22	23	24	25	26	27	28		A B C
評価 得点	29	30							

Aが2週間続いたら合格です。Bが続いたりCだったりしたら、もう一度実現できる目標になるように作戦を立て直しましょう。

《いきいきちばっ子健康・体力づくり作戦の実行に向けて》

健康・体力づくり作戦を進めるにあたって、家族でどのように話し合い、実践していったらよいのかちばっ子さんの例を紹介します。この例を参考にそれぞれの作戦を実行するよう家庭と協力し、取り組んでください。

ちばっ子さんは「いきいきちばっ子生活習慣チェック表」を使い自分の生活習慣を調べたところ、Aグループが低いことがわかりました。そこで、夕食のとき「作戦例A10時に睡眠、真っ暗大作戦」を参考に家族で相談しました。

- ・帰宅後に3時間もテレビを見ている。
- ・テレビを見終わってから、宿題や入浴をしている。
- ・親が仕事から帰ってくるのを待って、それから食事をする。



○解決のためにちばっ子さんの実行すること

- ・帰ったらすぐに宿題。
- ・自分でお風呂を沸かし、一番最初に入る。
- ・テレビ番組を決めておいて、1日2時間以上は見ないように努める。
- ・夕飯の支度を手伝う。
- ・夕飯後、すぐに歯磨きをするなど、早めに寝る準備をする。

○解決のために家族の実行すること

- ・テレビは見る番組を決めて、その時間以外はスイッチをとめる。
- ・できるだけ仕事を早く終え、帰宅するように努力する。

ちばっ子さんの家庭では、月・水・土・日曜日の4日「10時に睡眠、真っ暗大作戦」を実施

作戦実行のポイント

- ・一人で行うのではなく家庭、地域、学校などみんなで一緒に取り組むこと
- ・無理な作戦にならないように

詳しくは下記のホームページで確認ください。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/kenkou/kenkotop.htm>

③ 食習慣チェック虎の巻

食習慣チェック

心と体の健康づくりは正しい食習慣から

(三訂版)

い

イワシを食べて血液サラサラ

青み魚は、血液をきれいをしたり、頭の働きをよくしたりする働きがたっぷりです。



き

きちんと取ろう 朝ごはん

朝食は脳、心、体の栄養です。



い

いも、豆、海そう 毎日食べよう

不足しがちな食品は、心がけて食べましょう。



き

きんぴら、ごまあえ、おなかのそうじ

野菜に豊富に含まれるビタミン、ミネラル、食物繊維は生活習慣病を予防します。



ち

力がでるよ おいしいごはん

米と一緒に魚や野菜、豆腐、海藻を食べる日本型食生活が健康によいとされています。



ば

バランスよく食べよう 三度の食事

食事のリズムで体のリズムが整います。



っ

強い骨には カルシウム

カルシウムたっぷりの乳製品、小魚などは毎日しっかり取りましょう。



こ

こい味よりも うすい味

うす味で、食べ物本来のおいしさを楽しみましょう。



食事の基本型

魚、肉、たまご、大豆製品など、たんぱく質の多いもので、おもに体をつくるものになります。

主菜



給食にはいつもついていて、カルシウムが多くとれます。

牛乳

ごはん、パン、めん類など炭水化物の多いものでおもにエネルギーのもとになります。

主食



野菜を中心としたもので、おもに体の弱さを整えます。

副菜

(千葉県立沼田高等学校 山口由紀子先生 の作品)

作成/千葉県教育庁教育振興部学校保健課・食に関する指導資料作成会議
協力/千葉県米消費拡大推進協議会

④ 輝け ちばっ子リーフレット

平成20年度 **学校教育指導の指針** 小学校

教育を核とした新しい地域コミュニティを構築し、みんなであすの「ちばっ子」を育てよう

千葉県教育委員会は、平成19年7月に「千葉県教育の戦略的なビジョン」を策定しました。ビジョンでは、次の4つの目標を掲げています。

- 社会の中で個性が輝く「人間力」の醸成
- 家庭・学校・地域連携による教育力の向上
- 豊かな学びを支える教育環境の整備
- 子どもたち一人一人の教育的ニーズに対応した特別支援教育の推進

この「学校教育指導の指針」は、ビジョンの実現に向け、学校で取り組むことが期待される内容を示したものです。

4つの重点取組

**「うるおいのある
活きた学力」をそだてる**

基礎・基本の確実な定着を図るとともに、社会の中で力強く生きていくために、学校生活や社会で役立ち、人生を豊かにする知識や教養・技術などについて学習する力を育成する。

- 「自ら学び、思考し、表現する力」の育成
- 指導目標の明確化と指導方法の工夫改善
- 評価規準の改善と指導と評価の一体化
- 個に応じた指導の一層の充実
- 「総合的な学習の時間」の一層の工夫改善
- 読書活動の推進

**「思いやりのある
豊かな心と健やかな体」
をはぐくむ**

教育活動全体を通して、ちばっ子の人間関係づくりと道徳教育を推進し、思いやりのある豊かな心をはぐくむ。
また、運動・食事・休養など生活習慣に関する指導を積極的に行い、健やかでたくましい体を育成する。

- 道徳教育の充実
- 命を大切にする教育の充実
- 多様な体験活動を通じた社会性の育成
- 教育相談活動の充実
- 運動に親しむ資質や能力の育成と体力の向上
- 望ましい生活習慣の確立と健康で調のとれた心身の育成
- 安全に関する指導の充実
- 食に関する指導の充実

**輝け★
ちばっ子**

**「発達段階に応じた
キャリア教育」
をすすめる**

ちばっ子のキャリア発達を支援し、将来社会人・職業人として自己実現していくために必要な意欲・態度や能力を育成する。

- 働くことの意味と楽しさがわかる活動の推進
- 自己の将来について考える力の育成
- 教育課程への位置付けとその工夫
- 進路指導の一層の充実

**「地域とともに歩む
学校づくり」をすすめる**

保護者や地域から信頼される安全・安心な学校づくりや、地域の教育力を有効に活用し、地域における学びの拠点となる環境づくりに努める。

- 特別支援教育の推進を支える学校体制づくり
- 家庭や地域の教育力向上のための活動の推進
- 地域の教育力を生かした活動の推進
- 学校公開、情報提供の推進
- 地域と連携した安全・安心な学校づくりの推進
- 適切な学校評価とそれに基づく学校運営の改善
- いじめを見逃さない学校づくりの推進

千葉県教育委員会

「千葉県 食品等の安全・安心の 確保に関する基本方針」を策定しました

近年、「食」を取り巻く状況が、大きく変化する一方、食に関する諸問題が続発し、消費者のための食品等の安全・安心の確保に向けた取組が強く求められています。

千葉県では、平成18年に「千葉県食品等の安全・安心の確保に関する条例」を制定し、このたび、この条例の規定により、生産から消費に至る総合的な施策を実施するための基本方針を策定しました。

基本的な考え方

すべての県民が健康で安全・安心な食生活を営むうえで、食品等の安全・安心の確保は、欠くことのできないものであり、重要な課題です。

食品等の安全・安心を確保するためには、生産から流通、消費に至るすべての過程において、県民の健康への悪影響を未然に防止する観点から、科学的知見に基づいて、総合的な対策を進める必要があります。

食品関連事業者や消費者、行政がそれぞれの立場を認識し、県民の健康の保護が最も重要であるという基本的認識の下、食品等の安全・安心の確保のため、一体となって取り組むことが重要です。



基本方針のポイント



○食品関連事業者、県の責務と消費者の役割を明確にしました。



○総合的な施策を推進するため、

- ①「安全で安心な食品」の生産と供給の促進
- ②生産から消費までの総合的な食品等の監視・指導、検査体制の充実
- ③消費者の安心・信頼の確保と関係者の相互理解の促進の3つの視点から施策の方向を定めました。



○関係者が一体となって取り組むために、情報や意見の交換を行うリスクコミュニケーションを促進することとしました。



詳細は、衛生指導課ホームページ (http://www.pref.chiba.lg.jp/syozoku/c_eisi/index.html) をご覧になるか、最寄の県内健康福祉センター(保健所)にお問合せください。

千葉県健康福祉部衛生指導課食品安全対策室
TEL 043-223-2626 FAX 043-227-2713

「食の安全・安全電子版」…皆様からの「食の安全・安心」に関する質問や相談等にお答えします。
http://www.pref.chiba.lg.jp/syozoku/c_eisi/date/densikan/densikan_top.html

千葉県食品等の安全・安心の確保に関する基本方針の骨格

I 策定の趣旨

II 基本的な考え方

III 食品関連事業者、県の責務と消費者の役割

IV 施策の方向

「安全で安心な食品」の生産と供給の促進

安全・安心な農林水産物の生産と供給

農薬、肥料の適正使用の推進、畜舎の衛生管理指導の推進、トレーサビリティ、GAP、ちばエコ農家、千葉県済の推進

安全・安心な食品等の供給の促進

製造・加工者に対する衛生管理の指導・支援、流通・販売者に対する支援

生産から消費までの総合的な食品等の監視・指導、検査体制の充実

生産段階における監視・指導

農薬、肥料、動物用医薬品の適正使用の推進、遺伝子組換え作物の交雑防止に関する指導

製造・加工、流通・販売段階における監視・指導の推進

県内に流通する食品等の安全性の確保

食品表示の適正化の推進

表示の監視・指導の強化、添加物、遺伝子組換え、アレルギー物質などの表示の適正化、食品の適正表示のための普及・啓発の推進

食の安全に対する検査体制の充実

食品検査体制の充実

BSE対策の推進

死亡牛等のBSE検査、牛の個体識別制度の適切な実施、BSEスクリーニング検査、監視指導 など

遺伝子組換え食品に対する監視・指導の実施

適正表示の監視・指導

消費者の安心・信頼の確保と関係者の相互理解の促進

情報提供、広報活動の充実

食の安全・安心に関する相談窓口体制の充実

情報の共有化と関係者間の連携強化

- すべての関係者との連携
- 消費者、食品関連事業者、学識経験者の連携
- 県庁内関係部局の連携
- 食品等の安全・安心に関する危機管理における連携

食育の推進

学校や家庭、地域における食育の推進

V リスクコミュニケーションの促進

施策を実施する上でのリスクコミュニケーションの推進

リスクコミュニケーションにおける食品関連事業者、消費者との協力

効果的なリスクコミュニケーションのあり方の検討

VI 基本方針をより効果的に実現するための体制